

2023年度監査部門監査報告書

監 事 三上 剛 史
監 事 山田 英 昭
監 事 林 裕 悟
内部監査室長 北谷 仁 宏

1. はじめに

2023年度は第Ⅲ期中期経営戦略の成果と課題を踏まえて、第Ⅳ期中期経営戦略(2022年度-2027年度)を推進している最中であつたが、同時に、新規開設予定の理工学部を設置申請、鉄鋼学園との合併計画等が重なる時期でもあつた。

監査部門では、三上常勤監事、山田監事、林監事の3名が協力し、確定案件のみならず、進行中の案件をも監査する姿勢で積極的な監査を展開した。理事会・評議員会で必要に応じて意見を表明し、監事が課題と認識する事柄については監査意見書等で意見を表明している。

併せて、監事、監査法人、内部監査室の三様監査において協力して監査に取り組む体制を実施し、質の高い監査を実施することができたと考える。

2. 監事監査について

学院が長期計画 2030 の諸施策を積極的に展開する過程で、次の諸点において不測の事態が発生する可能性が高く、これらを巡るリスクの発生を防止することを監査方針の主軸とし、ガバナンス体制の確立を目指し監事監査を行った。

- ① 長期計画 2030 実現に向けた諸施策の推進
- ② 現在進行中の教学改革の展開、並びに理工学部開設、M&A 計画に伴うリスク
- ③ その他リスク管理上看過できない事象が発生した際の学院の対応

(1) 監査概要

- ① 理事会、評議員会、三様監査意見交換会、監査協議会に3監事が出席し、審議・報告内容に対して意見を述べると共に、理事の業務執行状況を確認した。
- ② 常任理事会に常勤監事が出席し、議事録を閲覧しつつ、審議・報告内容のモニタリングを実施した。
- ③ 内部監査室、監査法人と連携し情報共有を行った。
- ④ 監事会を10回開催し、必要に応じて内部監査室から業務および会計の報告等を受け、監事同士の意見交換と情報共有を行った。
- ⑤ 三様監査意見交換会を4回開催し、監事・監査法人・内部監査室の連携強化を図った。
- ⑥ 教学監査として、以下のヒアリングを実施した。
 - ・大手前中高 校長 (9月26日)
 - ・小学校 校長 (10月3日)
 - ・幼稚園 園長 (10月3日)

- ・茨木中高 校長（10月27日）
 - ・初等中等事務局長（12月15日）
 - ・理事長、専務理事（2月27日）
 - ・初等中等教育長（3月5日）
- ⑦ 監査協議会を4回開催し、監事、監査法人、内部監査室、法人執行部、学院事務管理職並びに各校園長とも意見交換、情報交換を行った。
- ⑧ 主要な会議への陪席
- ・3 監事：理事会、評議員会
 - ・常勤監事：常任理事会、経営戦略推進本部会議、大学政策会議、新学部・改組関係会議、建設委員会、初等中等教育評議会
- ⑨ 常勤監事と専務理事との日常的な意見交換（毎週）
- ⑩ 内部監査室部長との日常的意見交換と情報共有（不定期）

(2) 監査結果

監事3名の共通意見として、これまでのところ業務並びに財産の状況に関して、不正の行為、法令・寄附行為に違反する重大な事実は認められない。改善課題とリスク認知については、監事監査意見書に記載して理事会に報告した。

3. 内部監査について

内部監査は、内部統制の有効性を確認しつつ部門是である「学院の価値創生のための継続的な改革・改善を支援し組織の発展に寄与する」ことを踏まえ監査を実施している。

また、内部監査室の職員は、理事会、評議員会、常任理事会や大学教育研究評議会などの主要会議に陪席し、学院の方向性を常に把握しながら、監事や監査法人とも連携しつつ「プロアクティブ監査」、「効果的な三様監査」を念頭に置き監査業務を展開している。

2023年度は、第IV期中期経営戦略・長期計画2030などの学院における改革・改善に関する業務執行の状況適切にモニタリングしつつ、以下のような監査を実施した。

(1) 業務監査

① 部門別監査

2023年度は以下の部署に対する監査を実施した。限定付ではあるが、特に重大な問題は発見されなかった。

- i) 入試課・・・管理体制（人員）、発注管理、広報管理など
業務遂行に支障をきたす恐れのある人的資源に関するリスクについて課題の指摘を行った。
- ii) 大手前中高事務室・・・第IV期中期経営戦略と事業計画のあり方、事務執行についてなど
事業活動収支差額比率目標の達成方法、水道光熱費について課題の指摘を行った。
- iii) 人事課・・・人事・労務（労働環境）、研修について、働き方改革についてなど
組織の持続可能性に係る人事的課題、中期経営計画の推進、処遇改善、育成制度について課題の指摘を行った。

②教学監査

2023年度は以下について監査を実施した。いずれも特に重大な問題は発見されなかった。

- i) 国際学部・・・改組の評価方法、総持寺キャンパスの運用
- ii) 文学部・・・組織内の連携（学部と関連組織）、情報開示の検討

(2)テーマ別監査

①科学研究費助成事業（厚労科研費含む）

採択年度から 2023 年度迄継続している事業および 2023 年度に採択された科学研究費助成事業 143 件中 25 件を抽出し、内部統制の評価（ガイドライン対応監査・業務プロセス評価）および通常監査を実施した。その結果、一部内部統制の業務プロセスについて指摘を行ったが、監査対象事業の管理・運営状況について、重大な問題につながる事項は発見されなかった。

②CXデザイン局業務支援

システム監査の代替として、今年度設置されたCXデザイン局における業務改革推進課とシステム企画推進課の業務遂行に関し、側面的に支援を行った。O&Cセンターなど学院初めての業務展開を監査の視点から支援することで初年度としては成功したのではないかと考えている。

③研究インテグリティに関する監査

本年度は研究企画課の取組み体制が整っていないため、次年度に延期することとなった。

④2023年度安全保障輸出管理

安全保障輸出管理のマネジメント及び管理状況について監査した結果、特に重大な問題は発見されなかった。

(3)臨時監査

今年度は実施していない。

(4)モニタリング

諸施策の業務執行に関する手続状況は、会議への陪席や稟議書の閲覧などにより、適宜その適正性を確認した。

(5)フォローアップ監査

本学院のフォローアップ監査は、書面によるフォローアップに加え、関係者へのヒアリングを実施し各部門の改善計画を多角的に支援できるようにしている。

①部門別

- | | | | |
|-------------|----------|----------|---------|
| ・(株)オーティーエム | 【2022年度】 | 内容：対象項目3 | 結果：改善済3 |
| ・教務課 | 【2022年度】 | 内容：対象項目2 | 結果：改善済2 |
| ・小学校事務室 | 【2022年度】 | 内容：対象項目1 | 結果：改善済1 |

②教学

- | | | | |
|------------------|----------|----------|---------|
| ・経営学部 | 【2021年度】 | 内容：対象項目2 | 結果：継続2 |
| ・キャンパス移転の学内体制 | 【2022年度】 | 内容：対象項目2 | 結果：改善済2 |
| ・心理学部(就職キャリア支援課) | 【2020年度】 | 内容：対象項目1 | 結果：改善済1 |

・新しい授業形態	【2022年度】	内容：対象項目1	結果：継続1
・研究所	【2022年度】	内容：対象項目7	結果：継続7
③テーマ別			
・システム監査	【2020年度】		
小学校		内容：対象項目2	結果：改善済2
茨木中・高		内容：対象項目1	結果：改善済1
大手前中・高		内容：対象項目2	結果：継続2
	【2021年度】		
システム企画推進課（旧：情報メディア課）		内容：対象項目1	結果：継続1
CXデザイン局（旧：総務部）		内容：対象項目1	結果：継続1

以 上